

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	15	0406	防災情報通信設備整備事業

事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--------------------------------	-------------------------------	-----------------

《事業目的》

《事業開始の背景》

東日本大震災の経験をふまえ、コミュニティFM放送等を通じたより迅速な市民への災害情報の伝達が求められていることから、災害情報の伝達手段の構築とFM難聴地域の解消対策を進めている。

《事業概要》

○ Jアラート自動起動装置整備
 全国瞬時警報システム（Jアラート）自動起動装置の設置
 （コミュニティFM、大迫地域防災行政無線、東和地域有線放送設備との連動）

○ 災害FM受信環境整備
 コミュニティFM難聴地域におけるFMアンテナの設置
 （共同テレビ受信設備を活用したFM放送受信アンテナの整備）

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 宅内FM受信可能世帯	世帯	目標		600	
		実績		550	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
暮らし	総合政策部	防災危機管理課	奥山俊至	477

	25年度	当初(現計)	補正	25年度	年度
事業費	22,691				
財源内訳	国庫支出金	11,361			
	地方債				
	その他	1,743			
	一般財源	9,587			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

① Jアラート自動起動装置整備 11,361,000円 財源:防災情報通信整備事業交付金(100%国庫補助)
 全国瞬時警報システム(Jアラート)により受信する災害情報を、コミュニティFM、大迫地域防災行政無線、東和地域有線放送を通じて即時に市民に周知するため、各放送設備の自動起動装置を設置する。
 Jアラート自動起動装置整備業務委託料 11,361千円
 ※平成25年度防災情報通信設備整備事業交付決定額 11,361千円(100%国庫補助)

② 災害FM受信環境整備 11,329,500円 財源(一部):まちづくり基金繰入金(1,742,494円)
 コミュニティFM難聴地域において、災害FM放送の宅内受信環境を整備するため、既存の共同テレビ受信設備を活用し、コミュニティFM放送用のアンテナを設置する。
 災害FM受信環境整備業務委託料 11,329,500円(既設TVアンテナ)
 ・調査、アンテナ設置 21箇所
 (既設テレビ共同受信設備に設置)
 ・宅内のラジオとの接続に係る費用は各個人負担
 ※当初予定22箇所のうち、1箇所はH26繰越(FMアンテナ設置場所の調整等を要するため)

防災情報通信設備整備事業(総括表)

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	15	0406	防災情報通信設備整備事業

総合計画	政策	都市内分権構築で市民参画・協働のまちづくり	施策	5-3	防災体制・減災対策の拡充
目的	迅速な災害情報伝達体制の整備とコミュニティFM難聴地域の解消				
対象	市民				
意図	災害発生時の迅速な情報伝達を図る				

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

○Jアラート自動起動装置整備
 全国瞬時警報システム（Jアラート）自動起動装置の設置
 （コミュニティFM、大迫地域防災行政無線、東和地域有線放送設備との連動）

○災害FM受信環境整備
 コミュニティFM難聴地域におけるFMアンテナの設置
 （共同テレビ受信設備を活用したFM放送受信アンテナの整備）

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態 共催 実行委員会・協議会 事業協力・協定
 後援・協賛 補助・助成 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	25年度(計画)
① Jアラート自動起動装置整備施設	施設	計画		3	
		実績		3	
② FMアンテナ設置TV共聴施設	施設	計画		22	
		実績		21	
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	25年度(計画)
① 宅内FM受信可能世帯	世帯	目標		600	
		実績		550	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

要因分析

達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い

Jアラート自動起動機及びFMアンテナの設置について、えふえむ花巻圏や各テレビ共同受信施設組合の協力のもと、当初設計通りに既存設備を活用した整備を図ることができた。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

市政懇談会等において、コミュニティFM放送難聴地域解消対策の要望が出されている。

目的妥当性	<p>公共関与の妥当性</p> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	市民への災害情報の伝達は市の責務であり、市民の生命を守るため、多様な手段によって迅速に情報を伝達する必要がある。
有効性	<p>成果の向上余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	FM難聴地域における宅内での分配器整備等、FMラジオの宅内受信環境を整備することにより、より多くの市民の安心・安全が確保される。
効率性	<p>事業費・人件費の削減余地</p> <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	Jアラート自動起動装置及びFMアンテナの設置は、既存の設備に最低限の設備を付加するために必要な費用としており、人件費、事業費の削減余地は無い。
公平性	<p>受益と負担の適正化余地</p> <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	FMラジオ等により市内全域に情報伝達が可能であり、受益と負担は公平である。なお、本事業によっても解消されないFM難聴地域について再調査を行い、別途対策を講じる予定としている。

《総合評価》…上記評価結果の総括

・Jアラート自動起動装置の整備によって、より迅速な災害情報の伝達が可能となったことから、住民への周知や訓練の実施等により、災害時の円滑な活用を図る必要がある。

・FMアンテナの整備によって、難聴地域におけるコミュニティFM放送の受信が可能となったが、各世帯の負担によって受信環境を整備する必要があることから、テレビ共同受信施設組合の協力のもとでFMアンテナに常時接続する世帯を増やしていく必要がある。